

会 議 録

会議の名称		令和８年度第１回小金井市公共下水道事業審議会
事務局		環境部下水道課業務設備係
開催日時		令和８年７月２７日（月）１０：００～１１：４０
開催場所		小金井市役所本町暫定庁舎１階第１会議室
出席者	委員	楠元 克成 利谷 翔平 高木 和子 橋爪 文彦
	その他	パシフィックコンサルタンツ株式会社 眞崎 哲二 仲田 雅俊 本多 希久子
	事務局	下水道課長 本木 直明、工務維持係長 小林 君男 工務維持係主査 平田 亮、業務設備係長 鴨下 伸一
傍聴の可否		○可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数		０人
傍聴不可等の理由等		
会議次第		別紙のとおり
会議結果		別紙「審議経過」のとおり
提出資料		別紙のとおり
その他		なし

※ 審議に入る前に、当審議会にて答申を行った下水道使用料改定について、令和8年度第1回小金井市議会定例会に上程、議決となった旨報告を行った。

1 「令和7年度小金井市下水道事業会計決算について」

資料1に基づき、事務局から説明を行った。

主な質疑応答は以下のとおり。

(橋爪委員)

決算書は今後どのようなステップを踏むのか。

(事務局)

監査での審査を経て、9月議会の決算特別委員会で審議されて決算認定の議決をいただく流れになる。

(橋爪委員)

市議会議員はどのような視点で見ているのか。

(事務局)

下水道施設を当時、新たに建設していた時代とは違い、いかに維持管理していくかということが大事な話であり、市民の皆様から使用料をご負担いただいているので、必要な事業であるということと過度な負担にならないように、という視点で見えらっしゃるのではないかと認識している。

(橋爪委員)

令和7年度で計画された事業は、全て実施できているのか。

(事務局)

令和7年度予算の内容については市議会で説明し、可決後、本審議会でも説明している。ただし、埼玉県八潮市の事故を受け、国から重点調査の要請があり、緊急だったことから既存予算のストックマネジメントの点検費用をその調査に変えて執行した点がある。その調査点検分が後送りになった面はある。それは今後、全体のストックマネジメント計画の中で調整していく。

(橋爪委員)

総合計画に示された年度別の事業費は、今後各年度に計上されるのか。

(事務局)

お見込みのとおりである。

2 「令和8年度小金井市下水道事業会計予算について」

資料2及び資料2-2に基づき、事務局から説明を行った。

主な質疑応答、意見は以下のとおり。

(楠元委員)

委託料と工事請負費が前年度より増額となっている理由について教えていただきたい。

(事務局)

委託料は管きょ調査(テレビカメラ調査)が増要因の対象となる。また、管きょ更生工事があるため、工事請負費が増加している。

(楠元委員)

令和8年度予算については、流域下水道の維持管理負担金が増額となっているものに加え、資本的支出も増額となっているが、限られた予算の中での事業実施となるため、逐次状況を教えていただきたい。

(事務局)

承知した。

(橋爪委員)

社会情勢の変化が目まぐるしいが、下水道事業に最も影響することは何か。

(事務局)

部材の入手が困難となる事案が一番困るが、現時点でそういった事象は発生していない。

(楠元委員)

収益的収支の総括としては、収支が3億円超の赤字となっている。これは流域下水道の維持管理負担金の単価値上げによるものが大きいという認識でよいのか。

(事務局)

ご指摘のとおり、流域下水道の維持管理負担金の影響が大きい。料金改定は答申いただいたところだが、料金徴収は東京都水道局で実施しており、端末設定も含めシステム変更にかかるため、施行は1年遅れになり、赤字が生じている。原因ははっきりしているので、令和9年度以降は料金改定により、収支は改善する。

(橋爪委員)

下水道の料金徴収は水道側に委託するのは一般的なのか。下水道の使用料徴収は、水道と一緒にしているが、他の都市も同様か。

(事務局)

下水道使用料は、上水道に徴収委託するのが一般的である。他県はどうかかわからないが、公共下水道事業を実施する東京都内の市町村では、下水道単独で徴収している事例はない。

3 「下水道管路の全国特別重点調査について」

資料3に基づき、事務局から説明を行った。

※ 緊急度Ⅰが1スパン、緊急度Ⅱが1.5スパン確認された。

主な質疑応答は以下のとおり。

(楠元委員)

緊急度Ⅰへの対応は1年以内とのことだが、令和8年度中に実施するのか。

(事務局)

お見込みのとおりである。修繕を行う業者の目途もついている。

(利谷委員)

緊急度Ⅱの対象路線を5年以内に対応するとあるが、期間的にも予算的にも実施可能か。

(事務局)

管路のスパンが長く、工事の費用がかかる。業者の選定も必要となるため、順次実施していくこととなる。

(利谷委員)

工事に要する予算は維持管理費に該当するのか。

(事務局)

お見込みのとおりである。

4 「下水道使用料改定及び総合計画・経営戦略の改訂に関する検討について」

資料4に基づき、事務局から説明を行った。

主な質疑応答、意見は以下のとおり。

(橋爪委員)

経営の基本方針は、総合計画と同一にするのではなく、経営的な方針を設定した方がよいのではないのか。

(事務局)

具体的な目標や施策は、後述の経営目標のほうで設定している。意見内容を考慮し、再度検討させていただきたい。

(楠元委員)

資料4の11ページでは、単年度の現金収支に関して、令和8年度はマイナス約7百万円となっているが、資料2-2の令和8年度予算書(3ページ)では、マイナス約2億5千万円程度となっており、齟齬が生じている。

(事務局)

財政シミュレーションにおいて令和8年度は推計値となっているため、予算と齟齬が発生したと思われる。今後予算値も推計に反映できるよう検討を進める。

(楠元委員)

財政シミュレーションは、今年度の数値が令和9年度以降に引き継がれていくので、精査をお願いしたい。

(事務局)

承知した。

5 その他

現委員の任期における審議会は今回が最後となるため、全委員よりコメントを頂戴した。

閉会

*各議題の会議録・資料については、図書館本館、議会図書館(小金井市役所本庁舎4階)、情報公開コーナー(小金井市役所第二庁舎6階)にて閲覧できます。